

2014 年 3 月

年間活動報告書

2013 年版

外国為替市場発展のために

東京外国為替市場委員会

(Tokyo Foreign Exchange Market Committee)



2014 年 2 月 4 日撮影

目 次

3 巻頭のことば(星野議長)

5 小委員会報告

15 東京外国為替市場委員会委員名簿(2014年2月4日)

巻頭のことは

東京外国為替市場委員会・星野議長

2014 年 2 月

本日は我々のためにこのような会を催して頂きありがとうございました。
市場委員会を代表して御礼申し上げます。

今年度の活動のトピックを三つご説明いたします。

まず一つ目は出来高サーベイです。先週発表した東京市場の 10 月の出来高により
ますと、3 年半ぶりにシンガポール市場を押さえ、アジアナンバーワンとなりました。
その裏には数年に亘る正しく出来高を把握するための努力が実ったという喜び
があります。もともと我々の感覚では、シンガポールに為替市場の出来高がビハイ
ンドしているというのには違和感がありました。サーベイ対象行のカバレッジを海
外市場並みに広げ、報告対象者とフロントマネージャに集まってもらい出来高サー
ベイの意義を説明。特に漏れがちな海外拠点との直接記帳取引の把握等をお願いし
ました。最後は日本銀行の皆さんが一行一行個別に潰しこむことで今回の結果に繋
がったとの認識です。少なからず東京のブランド力強化の一助になったとすれば嬉
しい限りです。

次にアジアの市場委員会との関係強化です。アジアの為替市場は総体の出来高とし
ては米国を上回る出来高があるのですが、非常にフラグメンテッドな市場であり、
市場間の連携もこれまで殆ど行われてきませんでした。我々はアジアの他の市場委
員会とのパイプ作りを一つのテーマとして挙げていたのですが、昨年末に韓国の市
場委員会と情報や教育の面での協力を謳った MOU を締結しました。韓国の複数の
メディアでも取り上げられております。

三点目はコードオブコンダクトの改定です。市場委員会というのは基本的に各国で
独立した活動を行っているのですが、中銀のパイプでネットワークを形成しており、
年に一回グローバル FXC ミーティングを行います。このグローバルなネットワー
クで 2009 年以降コードオブコンダクトのグローバルな見直しを行ってきました。
この結果として先月東京でも 2008 年以來の大規模なコードオブコンダクト改定を
実施。フロントに加えて、ミドルやバック、監査部門を加え、電子為替や PB、相
場の提示、設定等を加えました。先週ロンドンの市場委員会に出席して参りましたが、恐らく、今後一層のコードオブコンダクトのグローバル調整が進んでいくと思
います。そうすることで、フラグメンテッドな為替市場全体の安定が図られて行く
ことでしょう。

以上が今年度の主要な活動例ですが、これ以外にも多くの小委員会が活発に活動を行っております。委員は東京市場の活性化のために本業と委員会活動の両者を上手くバランスを取りながらがんばっております。皆様には引き続き厚いご指導ご鞭撻をお願いして私のご挨拶とさせていただきます。

以 上

運営小委員会

I. 委員会概要

- 運営小委員会は、東京外国為替市場委員会（以下「本委員会」）の円滑な運営のために、以下の実務的な機能・役割を担っている。
 1. 委員の選任・退任に関わる事項
 2. 役員の改選に関わる事項
 3. 本委員会において議論・検討すべき事項の確認、意見交換等
 4. その他、本委員会の運営に関する事項

II. 活動報告

- 2013 年は「本委員会において議論・検討すべき事項」として、主に以下の項目について意見交換等を行った。
 1. 各小委員会の活動報告及び情報の共有化について
 2. 各国市場委員会との協力、情報交換について
 - ・外国為替市場委員会グローバル会合（香港で開催）に参加（中野副議長、齋藤書記）
 - ・韓国外国為替市場委員会との関係強化に向けた幹部との面談を実施（星野議長、中野副議長、大西副議長、河合書記）
 3. 各国為替市場の動向について
 - ・為替取引に係る規制動向についての議論および情報共有を実施
 4. 市場委員会の会計監査について
 - ・平成 25 年会計年度に関する会計監査の実施

III. 今後の課題

- 為替取引に係る規制動向についての議論・情報共有および対応策の検討
- 継続的な各国市場委員会との情報交換や委員会内での情報共有化の推進

以 上

広報小委員会

I. 委員会概要

- 広報小委員会は、東京外国為替市場委員会(以下本委員会)の活動を為替マーケットの参加者のみならず、社会に向けて発信することを目的として活動している。主な情報発信手段として本委員会のホームページに以下のような情報を掲載し、必要に応じ掲載内容を更新している。

- ① 邦文および英文の「委員会議事録」および「年次報告書」
- ② 新委員公募のお知らせやセミナー開催など委員会活動に関する情報発信
- ③ 緊急時の市場参加者への情報発信
- ④ 「コード・オブ・コンダクト」
- ⑤ 本委員会のメンバー、組織
- ⑥ 当委員会作成の公表文書

また、ホームページの運用に関しては、サーバーの見直しやレイアウトの変更など利用者の利便性を重視しつつ、低コストの運用を心がけている。

II. 活動報告

- 2013 年は以下の点を重点的に実施した。
- ① 2013 年 4 月中および 10 月中の外国為替取引を対象とした第 9 回および第 10 回の「東京外国為替市場における取引高サーベイの結果」の調査結果を作成し、ホームページに掲載した。
- ② 年次総会での各小委員会委員長による年間活動報告を取り纏め、年間活動報告書を作成し当委員会ホームページへ掲載したページに掲載した。
- ③ 「店頭外国為替証拠金取引に関するカバー取引状況」をホームページに掲載した。

III. 今後の課題

- 引き続き当委員会の情報発信・収集のニーズを理解し、適切かつ低コストのホームページの運営を行う。

以 上

教育小委員会

I. 委員会概要

- 教育小委員会は、セミナー等の実施を通して、東京外国為替市場に関わる人材の育成や新しい知識の普及に努める役割を担っている。

II. 活動報告

- 2013 年は日本フォレックス・クラブとの共催で、以下の二度のフォレックス・セミナーを実施した。

1. 実施時期 2013 年 3 月 11 日 18 : 30－20 : 30
実施場所 野村證券大会議室 アーバンネット大手町ビル 20 階
内容
第一部 「長期円高の構造転換」
講師 高島 修 氏
シティバンク銀行 チーフ FX ストラテジスト
第二部 「アベノミクス、海外マクロ、円需要を踏まえた為替相場予測」
講師 池田 雄之輔 氏
野村證券 金融市場調査部 マネージング・ディレクター
チーフ FX ストラテジスト
2. 実施時期 2013 年 8 月 26 日 18 : 30－20 : 30
実施場所 野村證券大会議室 アーバンネット大手町ビル 6 階
内容
第一部 「為替相場見通し」
講師 尾河 眞樹 氏
シティバンク銀行 個人金融部門
シニア FX マーケットアナリスト
第二部 「新たな均衡点を探るエマージング経済・資産市場」
講師 棚瀬 順哉氏
JP モルガン・チェース銀行 債券為替調査部
エグゼクティブ ディレクター チーフ FX ストラテジスト兼チーフ EM ストラテジスト

III. 今後の課題

- 現状の外国為替市場のニーズにあった形でのセミナー開催を続けることにより、人材の育成と市場の活性化を支援していく。

以 上

法律問題小委員会

I. 委員会概要

- 法律問題小委員会は、東京外国為替市場委員会（以下「本委員会」）の目的遂行のため、以下の役割を担う。
 1. 外国為替市場その他国際金融市場における取引に関する慣行や行動規範の法律的な諸問題について、議論および意見交換を行う。
 2. 上記 1.について、具体的には、以下の活動を行う。
 - ① 本委員会から調査依頼のあった事項について、小委員会として法的な観点から検討し、見解をとりまとめ、フィードバックを行う。
 - ② 何らかの実務上の問題を想定し、例えば取引の安全性を確保するという観点で、法的な立場から検討し、本委員会に対してベストプラクティス等を提言する。
 - ③ 外国為替市場の取引に関し、本小委員会としての対応が必要となる場合に備えて、研究が必要と考えられるテーマについて、情報収集を行う。

II. 活動報告

- オレンジブック改定に係る Code of Conduct 小委との協働
2013 年オレンジブック（Code of Conduct）の改定 Draft が完成したことを受けて 10 月に小委員会を開催。今般の改定趣旨を踏まえ、序文注記について、意見交換を実施。修正した方が好ましい点について整理して、Code of Conduct 小委宛てにフィードバックを行った。

III. 今後の課題

- 以下のテーマについての議論・研究・検討を中心に活動を行う。
本委員会から調査依頼のあった事項についての調査・検討

以 上

市場調査小委員会

I. 委員会概要

- 市場調査小委員会は、東京外国為替委員会による「東京外国為替市場における外国為替取引高サーベイ（以下、東京市場サーベイ）」を定期的実施し、海外主要市場の市場サーベイとの情報共有化を行うとともに、その内容について考察を行い、市場委員会の活動に結び付けていく。また、金融環境や市場の質・量の変化に対して、適宜調査活動を行う。

II. 活動報告

- 2013 年度は、主に以下の活動を行った。
 - 1. 東京市場サーベイ
 - (1) 「東京市場サーベイ」を 4 月分及び 10 月分を実施。4 月分は 7 月に公表、10 月分を本年 1 月 28 日に発表。
 - (2) 「東京市場サーベイ」に係る報告項目（セールスデスクやプライムブローカー取引）の定義・報告方法を明確化。
 - (3) 東京市場活性化に向けた、店頭外為証拠金取引に関わるカバー取引に関する実態調査を実施。
 - 2. 外国為替およびデリバティブ取引に関する中央銀行サーベイ
 - (1) 「BIS サーベイ」に関わる見直し案についてフィージビリティの検討および意見具申。
 - (2) 2013 年 4 月基準「外国為替およびデリバティブ取引に関する中央銀行サーベイ」（BIS サーベイ）実施に向けた説明会の実施。
 - (3) 同サーベイ結果を基に海外市場と東京市場の比較及び検討を実施。

III. 今後の課題

- グローバルかつクロスボーダーに取引される為替市場において、東京外為市場の活性化に向けた取り纏めを実施する。

以 上

Code of Conduct 小委員会

I. 委員会概要

- Code of Conduct 小委員会は、健全なる外国為替市場の維持・発展を目的とし、「Code of Conduct — 外国為替取引に関わる行動規範」を作成・改訂を行う。

加えて、主にインターバンク取引における取引慣行遵守状況のモニタリング、為替市場の変化への対応の指針作り、新たに取り組むべき課題の認識、に務める。

II. 活動報告

- 「Code of Conduct — 外国為替取引に関わる行動規範」（オレンジブック）改訂版を作成した。概要は以下の通り。

対象： インターバンク市場参加者。（銀行・証券会社・仲介業者等）

目的： 健全なる外国為替市場の維持・発展に資するものとする。

内容： 外国為替取引に従事するものが遵守すべき行動規範・倫理規範となる原理原則（Principles）。「目的」に資するものについては Best Practice の観点からより詳細に記載。

範囲： フロント業務のみならず、バック・オフィス、ミドル・オフィス、監査等各部門を新たに追加。その他、電子取引（E-Commerce）、プライム・ブローカー（Prime Broker）、相場の提示・設定についても同様に追加。

その他： ACI The Financial Markets Association が策定した「The Model Code January 2013」を鑑み、グローバルに整合性をとった。

III. 今後の課題

- 現在進行中の金融市場における規制に関する議論の推移を鑑みながら Code of Conduct のアップデートを行う。
- 取引慣行遵守状況のモニタリング、為替市場の変化への対応の指針作り、新たに取り組むべき課題の認識。

以 上

オペレーション小委員会

I. 委員会概要

- オペレーション小委員会は、本邦外国為替市場・資金市場（除く国内円）における決済業務に付随する事項を取り扱い、決済業務が円滑に行われるよう案件の検討を行い、東京外国為替市場委員会への提言を行う。

II. 活動報告

- Code of Conduct 改訂に向けて、資金決済関連項目に関する ACI model code 等他地域の行動規範の分析や意見交換、及び改訂版作成に向けて各委員の意見集約を進めた。尚、各回の小委員会議題は以下の通り。

第1回 2013年6月12日

- ・ Code of Conduct 小委員会からの照会事項への回答に関する意見交換

第2回 2013年7月16日

- ・ Code of Conduct への ACI model code 追加について、内容の確認と意見交換

III. 今後の課題

- 将来の外為デリバティブ取引の CCP 適用拡大を想定し、意見交換や課題の洗い出しを行っていく予定。

以 上

BCP 小委員会

I. 委員会概要

- BCP 小委員会は、被災後の東京外国為替市場の機能維持と早期の機能回復を支援し、取引の混乱を市場全体として最小限に抑制するための市場レベルの「業務継続計画」を策定・運営する役割を担う。

II. 活動報告

- 2013 年度は、以下の活動を行った。

1. 統一被災シナリオに基づく公表相場 BCP 策定実施

前年度末に公表相場業務実施者に対し、統一被災シナリオに基づく公表 BCP 策定及びアンケート回答を依頼。以下の回答となった。

- ・ アンケート回答金融機関：9 社
 - ・ うち統一被災シナリオ下、通常通り公表相場提示可能：7 社
- 26 年度以降も同アンケートを継続する方向で検討継続予定。

2. 三市場合同訓練実施

- ・ シナリオ・スケジュール等に関する短期金融市場・証券市場との事前調整、連携実施（今回は 3 市場事務局間での BCP Web の ID 相互持合いによる、3 市場間連絡の効率化も試行）。
- ・ 今回は、前年度訓練と同様の「被災シナリオの一部ブラインド化」に加え、初の「午後時間帯被災想定」により、CLS 決済時間間近での被災を想定した事前検討を各参加者が行った。
- ・ また、上記全体訓練に合わせ、CLS－本邦円 Settlement メンバー（5 行）間の決済データ連絡訓練を別途実施した。

今後、同 3 市場合同訓練の各参加者アンケート結果を踏まえ、26 年度訓練内容について検討していく。

III. 今後の課題

- 公表相場 BCP アンケート継続（年次）による外為市場の公表相場 BCP 態勢動向の継続モニタリングの検討。
- 3 市場合同訓練についての各参加者アンケート結果を踏まえた、26 年度の BCP 訓練改善に向けた検討。

以 上

E・コマース小委員会

I. 委員会概要

- E・コマース小委員会は、為替取引の電子化が進行する中、主に以下の項目につき議論・考察を行う役割を担う
 - 1. 為替取引電子化の現状把握
 - ・ インターバンク取引及び顧客取引の電子化の状況
 - ・ FX 取引(外為証拠金取引)動向の把握
 - 2. 取引の電子化が外国為替市場に与える影響
 - ・ 市場流動性、ボラティリティ、潜在リスク
 - ・ 取引環境、行動規範

II. 活動報告

- 拡大する電子取引の現状を鑑み、かつ ACI の「The Model Code」を参考にしながら、様々なオプションを想定し、東京市場の実態に即したかたちでオレンジブック(Code of Conduct)のEコマース(電子取引)に関する記載内容の改定を行うべく、小委員会を開催して議論を行い改定案を作成、CoC 小委員会に提出した。

III. 今後の課題

- HFT やアルゴリズムトレードなど、電子取引の拡大にともなう、市場流動性、ボラティリティへの影響や、潜在的なリスクの所在を調査・把握。
- 外為証拠金取引が東京外国為替市場に与える影響の考察及び、市場の安定的な発展のための対応検討。

以 上

NDF 慣行整備小委員会

I. 委員会概要

- NDF 慣行整備小委員会は、東京市場活性化の観点から現行取引慣行が明確でない対円NDFのフィキシング・レートの算出方法の標準化について、調査・検討を行い、市場慣行を推奨する事で安定した市場の整備に貢献する役割を担う。

II. 活動報告

- 2012 年度には推奨慣行を東京外為市場委員会のホームページに公示した。
- 2013 年度は取引実態の変化により推奨する慣行に再検討が必要であると考えられる場合や、NDF に関連し検討が必要な問題が生じた場合には小委員会を参集する予定でしたが、今期は報告する活動はなし。
(以下、検討の可能性があった事項)
 - ・ MYR と IDR の NDF Fixing の変更が与える影響は全くなし
 - ・ Dodd Frank 法により清算集中が必要となる可能性は当面なしと判明

III. 今後の課題

- 当初の目的である「対円NDFのフィキシング・レートの算出方法の取引慣行の推奨」の作業は終了し、プロジェクト委員会は解散した。しかし、推奨案にて「当該プラクティスは取引実態等の変化に照らして（中略）適宜見直しを行って参ります」としており、状況を定期的にモニターし、推奨内容の変更を検討する必要性は残っている。

以 上

東京外国為替市場委員会委員等名簿(2014 年 2 月 4 日)

< 委員 >

委員	役職	所属
星野 昭	議長	三菱東京 UFJ 銀行
中野 北斗	副議長	みずほ銀行
大西 知生	副議長	ドイツ証券
河合 祐子	書記	日本銀行
大柿 敦郎	委員	野村證券
花生 浩介	委員	香港上海銀行
Joseph A. Kraft, Jr.	委員	バンク・オブ・アメリカ
宗川 雄視	委員	トムソン・ロイター・マーケット
大木 一寛	委員	EBS ディーリングリソースシスジャパン
古海 利勝	委員	シティグループ証券
宮崎 誠	委員	CLS
石橋 優	委員	三井住友銀行
石川 昌信	委員	トウキョウフォレックス上田ハーロー
廣田 泰司	委員	JP モルガン・チェース銀行
好川 弘一	委員	スタンダードチャータード銀行
廣田 剛	委員	三菱 UFJ 信託銀行
今西 晋嗣	委員	三井住友信託銀行
岩田 智宏	委員	ゴールドマン・サックス証券

< 準委員 >

伊藤 祐介	準委員	マネー・ブローカーズ・アソシエーション
筒井 慎一	準委員	みずほ銀行
須田 剛彦	準委員	三菱東京 UFJ 銀行
太田 幸里	準委員	日本銀行

< オブザーバー >

廣川 斉	オブザーバー	財務省
------	--------	-----

(注) 敬称略(順不同)

<小委員会名簿>

常設小委員会	委員		所属
運営小委員会	委員長	廣田 剛	三菱 UFJ 信託銀行
	副委員長	大西 知生	ドイツ証券
		星野 昭	三菱東京 UFJ 銀行
		河合 祐子	日本銀行
		中野 北斗	みずほ銀行
		石橋 優	三井住友銀行
		伊藤 祐介	マネー・ブローカーズ・アソシエーション
		筒井 慎一	みずほ銀行
		須田 剛彦	三菱東京 UFJ 銀行
		太田 幸里	日本銀行
		水柿 洋之	三菱 UFJ 信託銀行
広報小委員会	委員長	大木 一寛	EBS ディーリングリソースジャパン
	副委員長	河合 祐子	日本銀行
教育小委員会	委員長	大柿 敦郎	野村證券
	副委員長	石川 昌信	トウキョウフォレックス上田ハーロー
		廣田 泰司	JP モルガン・チェース銀行
		宗川 雄視	トムソン・ロイター・マーケットツ
法律問題小委員会	委員長	今西 晋嗣	三井住友信託銀行
	副委員長	廣田 剛	三菱 UFJ 信託銀行
		古海 敏勝	シティグループ証券
		今泉 康夫	みずほ銀行
		大寄 博明	三井住友銀行
		俣野 仁志	三井住友信託銀行
		原田 和博	三菱東京 UFJ 銀行
		松原 道彦	三菱 UFJ 信託銀行
市場調査小委員会	委員長	中野 北斗	みずほ銀行
	副委員長	星野 昭	三菱東京 UFJ 銀行
		大西 知生	ドイツ証券
		河合 祐子	日本銀行
		宮崎 誠	CLS
		岩田 智宏	ゴールドマン・サックス証券
		石橋 優	三井住友銀行
		Joseph A. Kraft, Jr.	バンク・オブ・アメリカ
		筒井 慎一	みずほ銀行
		須田 剛彦	三菱東京 UFJ 銀行
		太田 幸里	日本銀行

常設小委員会	委員		所属
Code of Conduct 小委員会	委員長	大西 知生	ドイツ証券
	副委員長	筒井 慎一	みずほ銀行
		河合 祐子	日本銀行
		今西 晋嗣	三井住友信託銀行
		石橋 優	三井住友銀行
		岩田 智宏	ゴールドマン・サックス証券
		古海 敏勝	シティグループ証券
		花生 浩介	香港上海銀行
		Joseph A. Kraft, Jr.	バンク・オブ・アメリカ
		伊藤 祐介	マネー・ブローカーズ・アソシエーション
		須田 剛彦	三菱東京 UFJ 銀行
		福島 亮一	みずほ銀行
		劉 劍豪	ドイツ証券
		加藤 寛章	三井住友銀行
		市河 伸夫	三菱 UFJ 信託銀行
オペレーション 小委員会	委員長	花生 浩介	香港上海銀行
	副委員長	今西 晋嗣	三井住友信託銀行
		大木 一寛	EBS ディーリングリソースズジャパン
		石川 昌信	トウキョウフォレックス上田ハーロー
		宗川 雄視	トムソン・ロイター・マーケット
		須田 剛彦	三菱東京 UFJ 銀行
		土屋 潔	CLS
		高橋 一行	みずほ銀行
		平井 修史	みずほ銀行
		福島 亮一	みずほ銀行
		黒住 靖	三井住友銀行
		佐藤 慎介	三井住友銀行
		清家 麻紀	三井住友信託銀行
		小河原 鉄也	三菱東京 UFJ 銀行
		土田 守弘	三菱 UFJ 信託銀行
		松原 道彦	三菱 UFJ 信託銀行
		菅山 靖史	日本銀行

常設小委員会	委員		所属
BCP 小委員会	委員長	星野 昭	三菱東京 UFJ 銀行
	副委員長	兼平 修一	みずほ銀行
	副委員長	河合 祐子	日本銀行
		大西 知生	ドイツ証券
		石橋 優	三井住友銀行
		廣田 剛	三菱 UFJ 信託銀行
		土屋 潔	CLS
		福島 亮一	みずほ銀行
		篠永 健	三井住友銀行
		原田 和博	三菱東京 UFJ 銀行
		水柿 洋之	三菱 UFJ 信託銀行
		吉見 直	日本銀行
		菅山 靖史	日本銀行
E・コマース小委員会	委員長	石橋 優	三井住友銀行
	副委員長	蒲谷 淳二	ドイツ証券
		大西 知生	ドイツ証券
		河合 祐子	日本銀行
		廣田 泰司	JP モルガン・チェース銀行
		大木 一寛	EBS ディーリングリソースジャパン
		山崎 哲夫	金融先物取引業協会
		松田 明博	ゴールドマン・サックス証券
		有我 建彦	みずほ銀行
		綿林 寛資	三井住友銀行
		井上 吉康	三菱東京 UFJ 銀行

プロジェクト小委員会	委員		所属
NDF 慣行整備 小委員会	委員長	廣田 泰司	JP モルガン・チェース銀行
		大西 知生	ドイツ証券
		大木 一寛	EBS ディーリングリソースシスジャパン
		石川 昌信	トウキョウフォレックス上田ハーロー
		宗川 雄視	トムソン・ロイター・マーケットツ
		廣田 剛	三菱 UFJ 信託銀行
		寺田 八大	ドイツ証券
		加藤 寛章	三井住友銀行
		本間 仁	トムソン・ロイター・マーケットツ
		加辺 猛	みずほ銀行
		平井 邦行	三菱東京 UFJ 銀行

(注)敬称略(順不同)